

令和〇年度 第3次草津市協働のまちづくり推進計画の実績に係る評価【総評】

資料3-1

取組テーマ I.「情報の発信・取得・共有」		取組テーマ II.「場所・機会の提供」による「区づくり」		取組テーマ III.「組織・活動の見直し」等による「持続可能な運営」	
取組	総評	取組	総評	取組	総評
①活動の広報・周知		①まちづくりプラットフォームの活性化		①活動内容の見直し	
②好事例・先進事例の周知		②「私発(しはつ)」による新たな活動や「得意」を持ち寄った活動の実現		②アウトソーシングの活用	
③市および中間支援組織の窓口機能の周知・拡充		③福祉とまちづくりの人材が出会う場や機会の提供		③様々な活動をサポートする市や中間支援組織の連携	市からコミュニティ事業団と社会福祉協議会へ補助金を交付し、それぞれまちづくりと福祉の分野で中間支援に尽力いただいている中で、事業団が私発アクターへ支援を行うことで、こどもの居場所づくりといった福祉分野の活動が広がっている。 また、福祉の分野において在宅サービス訪問時の駐車場問題への理解と協力を呼びかけることにより、地域の協働の意識改革につながり、今後新たな私発協働が生まれる土壌が強化された。 このように、一緒に事業に取り組まずとも、それぞれの分野での支援を継続することにより、分野横断的な活動間協働が活発化している。 市および両中間支援組織における両分野のより細やかな情報共有を実施していく必要がある。
		④気軽にまちづくりに参加できる雰囲気づくり			
		⑤市職員の育成	新規採用職員および主任・主査職員に対しそれぞれ研修を実施し、市民や協働、相互理解について気づきを与えることができた。 協働を推進するにあたり、職員が研修を通じて向上した意識を保ち続けられるよう、また、受講者が限られているため、受講者以外の職員についても研修内容が共有されるような仕組みを検討する必要がある。		